

自然に学び自然を守る



水稲用殺虫・殺菌剤

農林水産省登録
第24346号



いもち病



トビイロウンカ ヒメトビウンカ

ウンカ類



アカスジカスミカメ ミナミアオカメムシ

カメムシ類

ブレードスタークル®

ゾル

治療効果の
フェリムゾンと
予防効果の
フサライド
2つの有効成分で
いもち病を一刀両断!!

ブレード®はクミアイ化学工業(株)の登録商標
スタークルは三井化学アグロ(株)の登録商標

水稲用殺虫・殺菌剤

ブレードスタークル[®] ゾル

有効成分：ジノテフラン……………10.0%
 フェリムゾン……………15.0%
 フサライド……………15.0%

人畜毒性：普通物
 (毒劇物に該当しないものを指している通称)

特長

- 1 いもち病に対して治療効果に優れたフェリムゾンと予防効果に定評があるフサライドおよびウンカ類、カメムシ類などに卓効を示すジノテフランを有効成分とする殺虫・殺菌混合剤です。
- 2 穂に発生する穂枯れ(ごま葉枯病菌)、稲こうじ病、内穎褐変病およびもみ枯細菌病にも効果があります。
- 3 無人航空機による散布が可能です。

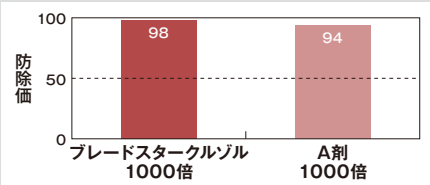
適用病害虫および使用方法

2020年5月現在

| 作物名 | 適用病害虫名 | 希釈倍数 | 使用液量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | ジノテフランを含む農薬の総使用回数 | フェリムゾンを含む農薬の総使用回数 | フサライドを含む農薬の総使用回数 |
|-----|--|-------|-----------------|-----------------|---------|----------------|---|-------------------|------------------|
| 稲 | いもち病 ウンカ類 カメムシ類 | 8倍 | 800mL/ 10a | 収穫 7日前 まで | 2回以内 | 無人航空機 による散布 | 4回以内 (育苗箱への処理 及び側条施用は 合計1回以内、 本田での散布、 空中散布、無人 航空機散布は合 計3回以内) | 2回以内 | 3回以内 |
| | ツマグロヨコバイ | 300倍 | 25L/10a | | | 散布 | | | |
| | いもち病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 稲こうじ病 内穎褐変病 もみ枯細菌病 ウンカ類 カメムシ類 | 1000倍 | 60~150L /10a | | | | | | |

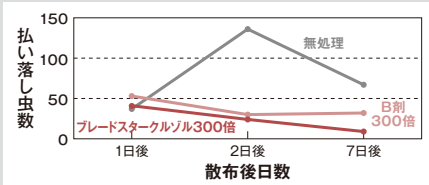
委託試験成績

■ 穂いもちに対する効果



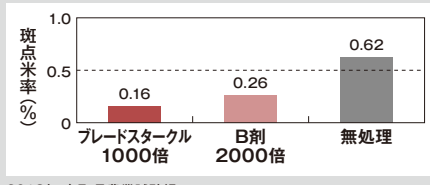
2018年 北海道立総合研究機構 上川農業試験場
 品 種：ななつほし
 区制・面積：20.8㎡ (2.97m×7.0m)、3連制
 発生状況：多発生(後穂)
 散 布：7/16、7/23、7/30、8/6に所定濃度に希釈した薬剤を
 100L/10a相当量散布(出穂期：7/31)
 調査方法：9/3に区の中央部20株について、発病率を調査し被害度
 を算出した。

■ ウンカ類(ヒメトビウンカ)に対する効果



2018年 (一社)日本植物防疫協会岡山試験地
 品 種：にごまる
 区制・面積：100㎡ (10m×10m)、連制なし
 発生状況：少発生
 散 布：8/18(穂ばらみ期)に25L/10a相当量を散布
 調査方法：1区3か所で1か所当たり10株に生息する成虫と幼虫の個
 体数を水面払い落とし法で調査した。

■ カメムシ類(斑点米)に対する効果



2018年 鳥取県農業試験場
 品 種：ひとめぼれ
 区制・面積：126㎡ (8.4m×15m)、連制なし
 発生状況：アカスジカスミカメ 中~多発生
 クモヘリカメムシおよびトゲシラホシカメムシ 少発生
 散 布：8/17(出穂期)に所定濃度の薬液150L/10aを動力噴霧機
 で均一に葉面散布
 調査方法：9/12に25株×3か所を刈り取り、乾燥後精玄米の全量に
 ついて斑点米率を調査した。

注意事項

- 長時間貯蔵しておくとき分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出してください。なお、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌してください。
- 本田の水稲に対して希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度運動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
 - 散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - 微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
 - 散布中、薬液の漏れないように機体の散布配管とその他散布装置の十分な点検を行ってください。
- たばこ、けいとう及びびだす、あずき、いんげんまめの幼植物には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに医師の処置を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣類を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、水産動植物に影響を与えないように適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。